쏨

表1 土木学会特別セッションプログラム

開催日:2011年9月15日(水)

場:Siri Fort Auditorium, August Kranti Marg, New Delhi, India

特別セッションプログラム:

Special Session on 2011 Tohoku Earthquake, Japan

- 1. Overview of damage and influence on Japanese
 - Eiki Yamaguchi (Kyushu Institute of Technology)
- 2. Damage of the seawalls and soil liquefaction Kenichi Horikoshi (Taisei Corporation)
- 3. Characteristics of coastal damages due to the 2011 Tohoku Tsunami Shinji Sato (University of Tokyo)
- 4. Government actions for the recovery of national highways

Masahiro Shirato (Ministry of Road Transport & Highways, Government of India)

する次第である 割り当てられた。ここではその参加報告を行 特別セッションを提案した。幸いこの提 全面的に認められ、セミナーの中で1時 『基金の助成を受けた。ここに記して感謝 なお、参加にあたっては、土木学会学術交 間が

が企画され土木学会にも参加要請があった。

インド土木学会が主催するEngineers Celebrationの一環として国際セミナー

山口

土木学会ACECC担当委員会 副委員長

(九州工業大学)

東日本大震災の報告を行う

インド土木学会国

際

学会特別セッションプログラムは表1の通りで 玉 際セミナーの開 催日、 開 催場 所 土木

震災の報告を行うこととし、このテーマでの えていく上での礎にすべく、今般の東日本大 学会で検討の末、

将来の社会基盤施設を考

Futuristic Infrastructureであり、土木

トはApproach

to Sustainable

に勤 Expert of Policy Advisor on に在住されている。 してインド政府に勤務し、デリー Expressway Developmentム 4番目の講演者である白戸 務されており、現在はJICA 昨年度まで(独)土木研究所 氏

扱われた。インドはもとより、ア さわしいたいへん立派な施設で Auditoriumはこの日の催しにふ 写真1に示す通り、 の贈呈があり、 った。講演者には花束や記念 、たいへん丁重に Siri Fort

ENGINEERS' DAY CELEBRATION メリカ、

あった。 学位授与機構の役割も担っている。この日は 若人が会場内にたくさんいたのも印象的 学位授与のセレモニーもあり、ガウンを着た 木学会と協力協定を締結している学協会の /加者も多く見られた。インド土木学会は 一台湾、フィリピン、モンゴルなどの、 土

セッション終了後、彼女が くれたのがたいへん印象に残っている。 interesting session, wasn't it?。と言って 学会による特別セッションは成功裡に無事終 セミナーには総合司会者がお II_{s} was a ŋ very 土木 特 别

者と座長の 教授で、茨城大学で学位を取得された方で る。日本で学位取得と知った瞬 特別セッションで座長を務めたのはC. Ghosh 特別セッション終了 距離 が 気に縮まるのを感じ 直後の休憩時 間、 発 間 表

た。



土木学会による特別セッション

Ŕ

写真2 佐藤教授(東京大学)による講演

である。 け入れの重要性をあらためて実感した次第 なお、国際セミナーに先立ち、白戸氏のア 和やかに話が弾んだ。日本の留学生 受

R.P. Indoria道 員会委員長 : 発表し、道路防災に係る意見交換を行った。 路局幹部の方々を対象に、東日本大震災に また、堀越氏(土木学会ACECC対応 おける道路関係の被害・復旧状況を中心に Highways) 道路局を訪問する機会を得た。 レンジで、インド政府道路交通・幹線道路省 Ministry of Road Transport and 、果物が贈呈された。 心となって進めてきた設計基準に関する & Special 大成建設)より、土木学会が 路 Secretary) をはじめ、 局 長(Director General 道

密度の濃い、たいへん意義深い1日となった。

種々の国際活動を行い、土木学会として